

世界遺産検定
2級学習ツール⑥
2022.05

①1971年にユネスコが立ち上げた、「人間と生物圏計画」(MAB計画)の目的を2つ挙げなさい。

(.....)

(.....)

②「人間と生物圏計画」(MAB計画)で制定された生物圏保存地域の区域分けのうち、世界遺産条約に援用されている概念を2つ挙げなさい。

(.....)

(.....)

③ 国境線を越えて存在する遺産を多国間の協力の下で保護・保全するものの名称と、当てはまる遺産名を挙げなさい。

名称 (.....)

遺産名 (.....)

④ シリアル・ノミネーション・サイトに関する以下の文中の空欄を埋めなさい。

シリアル・ノミネーション・サイトは (a.....) や歴史的背景、(b.....)

などが共通する遺産を、ひとつの遺産として (c.....) を

有するものとみなし登録するものである。

(d.....) などの

世界遺産がこれにあたる。



2級学習ツール⑥ 解答 (2022.05)

① 「環境資源の持続可能な利用」「環境保全の促進」

MAB計画では、環境資源の持続可能な利用と環境保全の促進のため、保護すべき自然を生物圏保存地域に制定し、三段階の区域に分けて保護しています。

② 「核心地域」「緩衝地帯（バッファ・ゾーン）」

世界遺産には、核心地域と緩衝地帯が世界遺産に援用されています。なお、世界遺産では、核心地域を「資産（プロパティ）」と呼びます。資産の周囲に設定されるのが緩衝地帯（バッファ・ゾーン）で、世界遺産登録の範囲には含まれないものの、資産の保全を妨げる活動が制限されます。

③ 名称「トランスバウンダリー・サイト」／遺産名「ル・コルビュジエの建築

作品：近代建築への顕著な貢献」、「ワッデン海」など

当初は国境を越えて広がる自然遺産を登録する際に考え出されたものです。かつてひとつの文化圏にあった地域が国境で分断されることがあり、そうした遺産の保護にも、トランスバウンダリー・サイトの概念が用いられます。

④ a. 文化 b. 自然環境 c. 顕著な普遍的価値 d. 福建土楼群、カムチャツ

カ火山群など

文化や歴史的背景、自然環境を同じくする資産を一つの遺産として登録するものです。シリアル・ノミネーション・サイトのうち、それぞれの資産が国境を越えて存在する場合は、トランスバウンダリー・サイトとなります。